

北海道サマーフェスティバルへの推薦チーム(ウェルフェア推薦)

北海道サマーフェスティバルに出場するチームについては、札幌地区春季選手権の交流戦で勝ち上がったチーム、および、より積極的にウェルフェアなチームづくりを推進していると認められた下記のチームを、札幌地区代表として推薦しました。

■男子チーム

ドリームキッズ (D ブロック)

ドリームキッズは、指導者が子どもたちの挑戦を積極的に認め、全員が試合に関われるよう配慮するなど、チーム全体の成長を重視した指導が行われていました。選手はプレーが止まった場面で自ら話し合い、主体的に判断しようとする姿勢が見られ、最後まで粘り強く取り組む心の強さがありました。保護者も相手チームの好プレーに拍手を送るなど、温かい応援とスポーツマンシップに満ちた雰囲気をつくり出していました。

江別バスケットボール少年団 (E ブロック)

江別チームは、選手の頑張りを認め励ます声がベンチ・応援席の双方から聞こえ、チーム全体で子どもたちを支える姿勢が際立っていました。指導者は過度な指示を控え、選手の主体性を尊重しながら試合に臨ませており、選手同士も役割や方向性を確認し合いながら自律的にプレーしていました。保護者も大会運営に協力的で、地域とともにチームを支える姿勢が見られました。

■女子チーム

札幌発寒西ミニバス少年団 (C ブロック)

発寒西は、指導者が子どもたちの自主性を重んじ、試合中も選手同士の対話を促すなど、主体的な学びを大切にした指導が行われていました。選手は互いの頑張りを認め合い、強い相手にも自分たちのプレーを貫こうとする心の強さが見られました。保護者は温かい声掛けで子どもたちを支え、会場提供や運営にも協力的で、チーム全体で良い環境をつくり出していました。

桜木ミニバスケットボール少年団 (E ブロック)

桜木チームは、練習段階から選手の主体性を尊重し、状況に応じて自ら考える力を育む指導が徹底されていました。試合中も選手同士が場面ごとに声を掛け合い、主体的に試合を進める姿が印象的でした。ベンチや応援席の態度も節度があり、指導者・保護者ともに大会運営へ協力的で、チームとしての成熟した姿勢が感じられました。